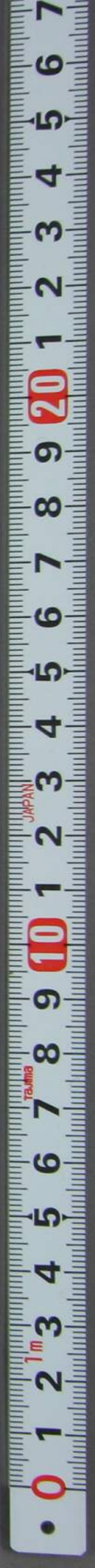
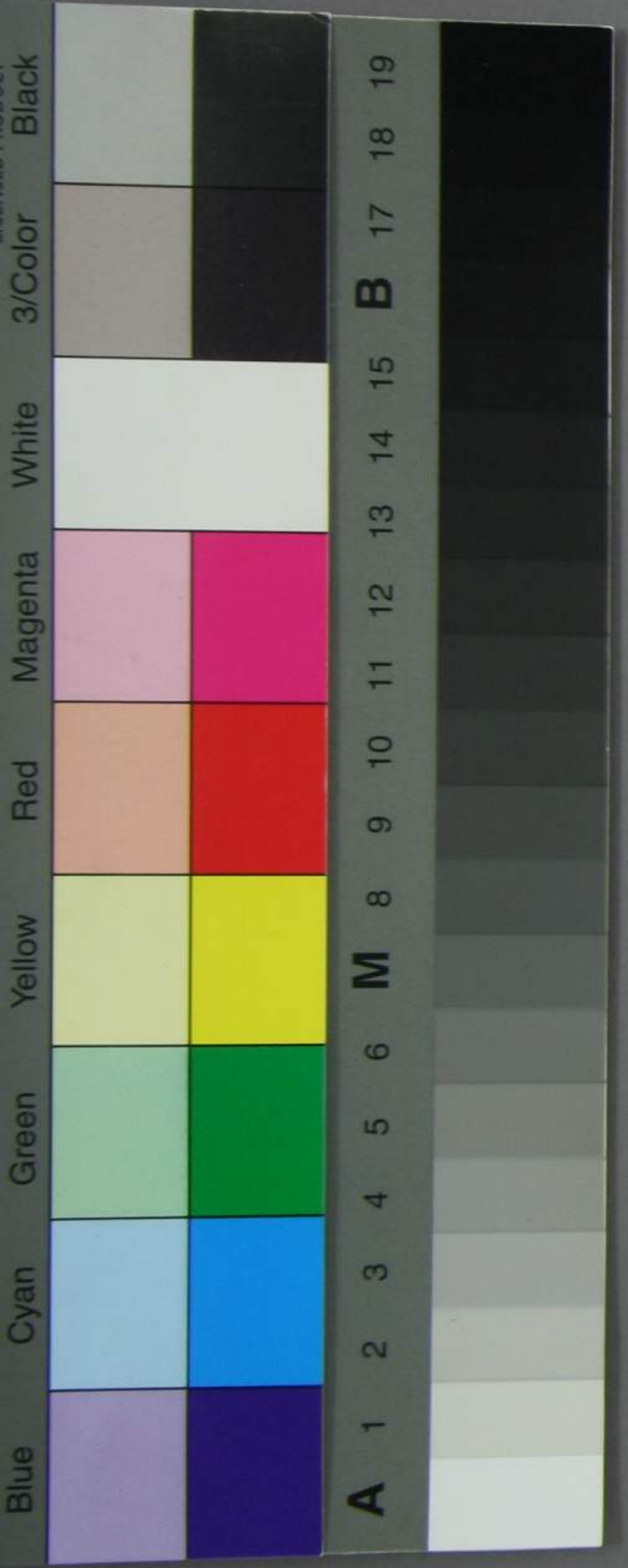


114

A 5089

北溟ニ魚アリ其名ヲ鯤ト云フ詭皇四海ニ君臨シ制
 度ヲ一新シ鯤ヲ辟テ何有洋ノ副官トス是ヨリ先キ
 詭皇南海ノ波臣松魚ヲ奉テ何有洋ノ長補松魚
 先ノ同洋ノ鱗ノ教名ヲ用ヒ之ヲ屬官トス曰鱗曰鯨
 曰鯢曰鰻亦洋中ノ鱗ノ教名ヲ召テ之ヲ屬官トス鰻

大正十一年四月
 隈侯爵邸奉贈



ト云ヒ鱧ト云ヒ鳥賊ト云ヒ水母ト云フ洋波底ニ國

セリトイ一氏其事務一一人向ノ如ク亦租稅出納庶

務聽訟等ノ各課アリ此時ニ當リ詭皇宰相大臣ノ議

ニ大ニ改令ヲ皇張シ兒王^{建球中}建球^{建陽中}神^{建陽中}ト

雄ヲ宇宙間ニ準ハントス故ヲ以テ兵隊ノ備學校ノ

設及ヒ鐵路傳信造幣等各項費廢其麗德ノ^トナラス

故ヲ以テ地方ノ租稅其人ヲ得能ク負賦ヲ檢シテ之

ヲ會計事務局ニ納ムルニ非レハ歲入ノ額以テ歲出

ノ數ヲ支ルニ足ラス銀其副タルニ及ヒ將ニ能ク事

ニ練務ニ熟スル者ヲ求メ簡擇シテ之ヲ指官ニ充

ントス此時ニ當リ洋官三十名ヲ越フルコトヲ許サ
ス而シテ鯨鯨滿廳既ニ其半ヲ越一タリ已ムコトヲ得
ズ鯨鯨救名ヲ徵シテ赴任セリ既ニ洋中ニ至リ滿屬
ヲ集メ其課務ヲ分タント欲ス鯨鯨能ク横行スレバ
以テ庶務聽訟ノ事ニ任スヘカラス鯨鯨能ク蛇行ス

レ反以テ租稅出納ノ事ニ任スヘカラス之ニ加フル
ニ鯨鯨能ク横行勢松魚ノ右ニ出ワ鯨鯨之ヲ憂ヘ鯨ヲ免
セントスルニ松魚ノ薦メレ所ナレハ松魚ノ聽カサ
ルコト知ルヘキナリ之ヲ論セントスルニ松魚ト申
端ヲ開キ新雇ノ瓦解スルコト知ルヘキナリ是ニ由

テ已ムコトヲ得ス之ヲ用ントスレハ政治ノ奉ラサル
コト既ニ已ニ火ヲ見ルカ如シ偶詭皇使者ヲシテ洋
濤ヲ巡行シ事務ノ奉否ヲ監セシム使者至リ詰テ曰
ク某事何ヲ以テ奉ラサル某事何ヲ以テ整サルト鯤
実ヲ以テ之ニ告ントスレハ扱不可ナル者アリ実ヲ

以テ之ニ告サレハ職ニ堪ヘサル者ニ似タリ已ムコ
トヲ得ス一計ヲ注シテ曰ク如カズ是レ龍宮ニ朝シ宰
相大臣ニ懇ルノ愈レルニハ蓋君子ハ人ヲ告ゴシ宰
相ハ四海ヲ以テ任トス官ニ定算ナク職一事限ラ
ズ鯨ノ横行別ニ用處アラシク則松魚決奉ノ謗ナク新

廳瓦解ノ憂ナク鯤亦曠職ノ罪ヲ免シント遂ニ入朝
シテ之ヲ宰相ニ告ク宰相之ヲ諾ス鯤命ヲ待テ既ニ
二旬ヲ過ク而シテ鯨猶轉任セス且ツ微ニ之ヲ漏洩
セシ者アラン頗ル歸洋ヲ促請ス鯤計及キ更ニ宰相
ニ請フ曰ク改ノ承否実ニ鯨ノ轉否ニ由ル洵下改ノ

奉ラシトテ欲セハ請フ鯨ヲ轉職セヨ若シ鯨ヲ轉職
セシメズンハ洋中ノ諸政鯤ノ能ク負荷スル所ニ非
ルナリト是海南漁人ノ語ノミ而シテ下官ノ事類ル
之ニ類スル者アリ下官之ヲ正言スルヲ欲セサルニ
非ス拔正ニ不可ナルヲ如何セン已ムトテ得テ藉ク

漁人ノ語ヲ假リテ之ヲ陳ス切ニ清ク胸下ノ幸ニ之
ヲ裁シ給ハンコトヲ

南海地官某成公再拜謹上